

高校生を対象とした地域福祉ワークショップ 開催要領

1 目 的

第2期一関市地域福祉計画（令和3年3月策定）（以下「計画」という。）では、「地域福祉を担う人づくり」を基本目標の一つとしています。

このことから、将来を担う世代である高校生たちが、地域の一員としての自覚を持ち、地域や他人を思いやる心を育みながら、自らが住む地域や、地域福祉の課題を考える機会を持つことを目的に「高校生を対象とした地域福祉ワークショップ」を開催します。

- 2 日 時 令和5年12月9日（土） 午後1時30分から午後4時30分まで
 3 場 所 一関市総合福祉センター（一関市城内1番36号 ☎0191-23-6020）
 4 対 象 市内の高校生20人程度（市内各高等学校から参加者を募集）
 5 内 容

- (1) 日 程 13:30～14:00 開会行事・講話
 14:00～16:00 ワークショップ
 16:00～16:15 発表
 16:15～16:30 講評・閉会

(2) 講 師

コーディネーター：岩手県立大学社会福祉学部教授 佐藤 哲郎氏

ファシリテーター：一関市社会福祉協議会事務局次長兼地域福祉課長 菅原 敏 氏

- (3) 進め方 市内で社会福祉事業を運営しているいくつかの社会福祉法人から幹部職員を招き、高校生との座談会形式で地域福祉の課題の洗い出しや課題解決に向けた話し合いを行います。

なお、進行や記録のため、岩手県立大学の学生の協力をいただきます。

6 感染症対策について

- (1) 当日発熱や体調がすぐれない場合は、参加を見合わせることに。
 (2) 会場内では各自の判断で、マスク、手指消毒などの対策を適切に行うこと。

7 その他

- (1) 送迎は行いませんので、参加者は各自会場までお越しください。
 (2) 傍聴はなしとします。ただし、報道機関から取材の申し出がある場合は受け入れることがあります。

～ 地域福祉とは ～

「福祉」と聞くと、介護などの高齢者福祉、補装具などの障害者福祉、保育園などの児童福祉や生活困窮者への生活保護など、階層ごとにそれぞれの行政サービスを想像するかも知れません。

しかし、私たちが住んでいる地域には、困っている要因が複合的に混ざり合い、誰に相談していいか分からない人たちや、支援を必要としている人とそれを支えている家族が、大きな負担を抱えながら孤立して疲れてしまっていることがあったりします。

私たちの住んでいる地域全体が幸せになるためには、そうした、外部からの支援を必要としている方に対して、公的なサービスの提供だけでなく、地域の人たちがお互いに支え合い、助け合っていくことが何よりも大切です。

地域福祉とは、誰もが支え合い、みんなが住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくりを進めようとするものです。